

ワンデーレスポンスに対する取組み内容及び効果について

1 ワンデーレスポンスとは

「ワンデーレスポンス」とは、主として監督員個々において実施している「現場を待たせない」「速やかに回答する」という対応を組織的、システム的なものにより、工事現場において発生する諸問題に対して迅速な対応を実現する施策の一つであり、国土交通省及び広島市（市長部局）も含め、全国的に取り組んでいます。

2 取組み内容

具体的な取り組みは、受注者からの質疑・協議への回答は、基本的に「その日のうちに」対応し、即日回答が困難な場合（対外協議、現地調査、構造計算必要等）は、いつまでに回答が必要なのかを受注者と協議のうえ回答期限を設けるなど、何らかの回答を「その日のうちに」することです。【参考資料 2】ワンデーレスポンスの実施フロー参照）

なお、ワンデーレスポンスを行う前提として、受注者へは綿密な施工計画書の策定や、発注者が諸問題に対し判断しやすいように協議の時には判断材料を揃えるなどの努力を求めることとします。

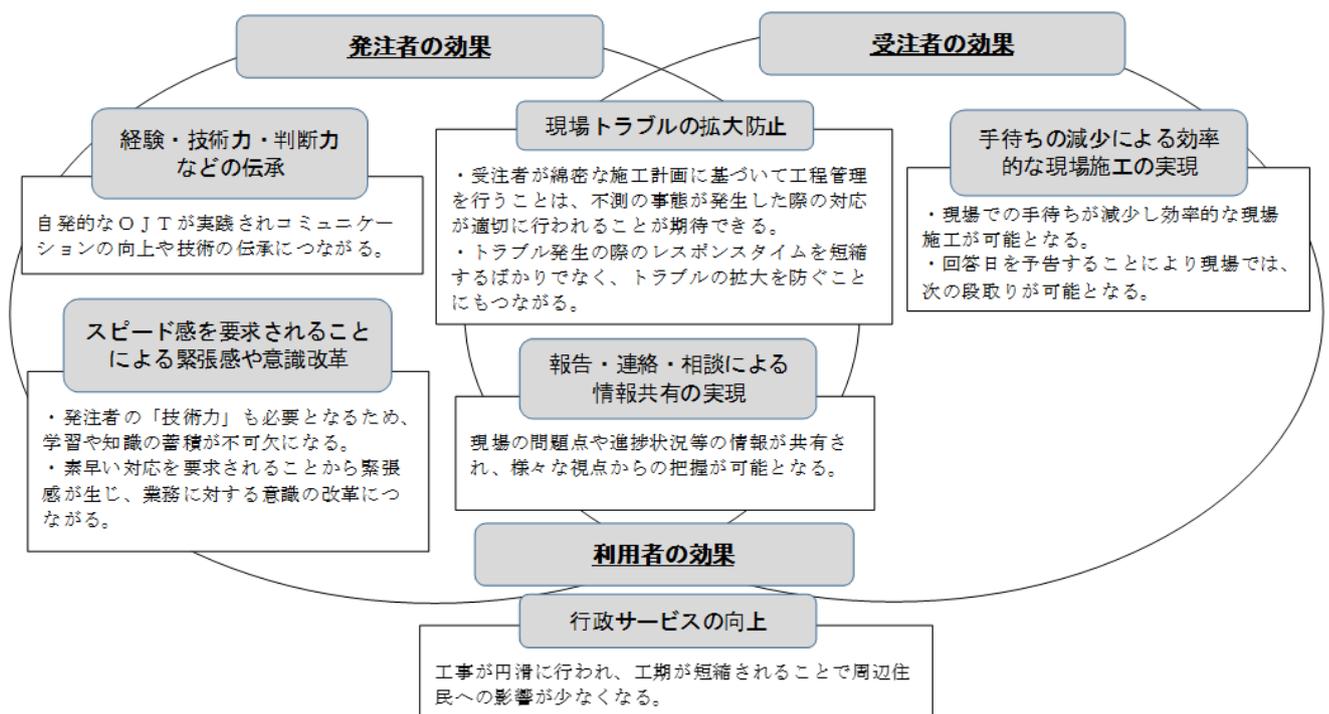
【監督員が不在の場合の対応】

「その日のうち」の回答が監督員の不在などにより困難な場合は、施工担当課が電話、電子メール等の媒体を活用し、監督員が回答できる日を通知します。なお、監督員は後日、書面により回答できる日を通知します。

3 効果

この取組みにより、各作業の関連把握や工事の進捗状況等を把握できる工程管理が行われ、工事の先々を予見することで、疑義や問題点も事前に見つけることができ、現場トラブルの拡大防止や手戻りの減少及び現場での手待ち時間も減少することで工事が円滑に行われることから工期が短縮され、周辺住民への影響が少なくなることにより行政サービスの向上という発注者責任を果たすこととなります。

また、発注者側の監督員が上司等に相談することにより、一人で問題を抱え、時間の経過とともに問題が大きくなるというケースも減少するなど、次に掲げる様々な効果が期待できます。



ワンデーレスポンスにより期待できる効果